

科目名	近世文学特講	
担当者	清水 勝 / SHIMIZU, Masaru	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	江戸時代の物語文学の中で、本格的な小説は、秋成の「雨月物語」に始まる。秋成がこの小説を創作し得た背景を明らかにしつつ、この物語を読解する。古典の実力をつけるためには勿論、古典の面白さを知るためにもなると思われる。
	到達目標	1、黄表紙に対する読本の「雨月物語」の新しさを理解する。 2、各編を読んで、内容に加えて、次第に構成にも気付くようになる。3、物語中の和歌・漢詩・発句・謁と物語との関わりから、より深く国文学と国語に関心を持つようになる。
授業計画	(1) 上田秋成と文芸の関わり。(庶民・和歌・俳諧・漢詩・出版等より) (2) 黄表紙の気質物から怪異小説へ如何にして転じていったのか。 (3) 第一話「白峰」を読む。(崇徳天皇と西行法師の人生論の論争) (4) 第二話「菊花の約」を読む。(義に生きた武士二人と利に生きた二人) (5) 第三話「浅茅が宿」を読む。(真間の里の夫と妻の契) (6) 第四話「夢応の鯉魚」を読む。(三井寺僧興義の放生と応報) (7) 第五話「仏法増」を読む。(夢然父子と人殺し関白秀次・部下の幽霊達) (8) 第六話「吉備津の釜」。(神占の通りに不幸になり、妻の霊が夫を取殺す) (9) 第七話「蛇性の淫」。その一(豊雄、真女兒一蛇一に魅せられ結婚する) (10) 上全「上全」。その二(豊雄道成寺の僧により命拾いする) (11) 第八話「青頭巾」。(鬼に成った住職と快庵禅師) (12) 第九話「貧福論」。(吝嗇な侍岡佐内と黄金の精との幸福論争) (13) 「雨月物語」においては、第九話が跋文の代用とされる理由について。 (14) 第一話が全構成の伏線となり、全編に救いが無い理由を考察する。 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・復習をしっかりとすること。
使用教材・参考文献	【教】「雨月物語」森山喜郎 校注／解説 笠間書院平成11年発行 (ISBN4-305-00132-2)。以下、参考書は大学図書館にあり。 【参】小学館古典全集本「上田秋成集」・岩波古典大系本「上田秋成集」	
成績評価方法と基準	<方法>出席10回以上とし(30)、各回レポート形式の小試験を行い(20)、さらに試験も行う(50)。 <基準>平均して、60点以上を合格とする。	
備考		